

与論町 R6年度ふるさと留学

受付期間 10月13日（金）～10月20日（金） ※土日除く
募集期間 10月21日（土）～11月6日（月）

鹿児島県最南端の小さな島・与論島。
珊瑚の海に囲まれたこの島で、自然の豊かさを感じながら
のびのびと、夢に羽ばたく力を育てませんか。

親子留学

住宅を確保し、与論島で親子生活をしながら通学します。
（令和5年10月現在 1室確保有 61.94㎡ 和室3DK）

申請・孫留学

与論島在住の親戚・祖父母の家で生活をともにしながら通学します。

補助制度

与論町ふるさと留學生制度助成補助金より、生活補助・家賃補助・帰省補助金があります。

与論で学ぶってどういうこと？

1. 豊かな環境・体験

珊瑚に囲まれ、『東洋の真珠』と称賛される美しい島で、伝統文化や人の温かさに触れながら、地域課題に取り組み、主体的で自立の精神を養います。

2. 生きる力を育むカリキュラム

地域と全ての学校とが連携して進めている探究型学習（海洋教育）により、表現力やねばり強さ、自己肯定感の向上を目指すことができます。

3. 中高一貫教育

与論中・与論高校で行われる相互乗り入れ授業、合同行事、部活動交流などにより、きめ細やかな指導を受けることができ、中高での学びの意識を高めます。
教師、地域の方との協働の機会も多く、生徒間も仲睦まじく過ごしています。

自然環境
体験

中高
一貫教育

探究型
学習

お問い合わせ先
与論町教育委員会学務課
0997-97-2441

詳細はHPより

<https://www.yoron.jp/kyouiku/list00507.html>

Googleフォームからのふるさと留学問い合わせ
10/13（金）～受付開始

<https://forms.gle/8fvIkJJWiBqXgDi69>



奄美大島

与論島

沖縄

ふるさと留学×先輩の声 ※令和5年現在 3名在籍（高校1年生2名・3年生1名）

与論高校1年Hさん（令和5年9月インタビュー）

孫留学をしているHさん。これまでの長期休暇の時に与論島へ来ていました。今回、思い切って孫留学を始め、生活の場を与論島に移して感じることにについて伺いました。



与論高校1年Iさん（令和4年9月インタビュー）

お姉さんのふるさと留学をきっかけに与論島を訪れたIさん。海的美しさや与論島の自然の豊かさに感動したことや、都会では経験できない、地域の人との家族のようなふれあいを、生き生きとした表情で語ってくれました。



与論高校での学校生活について教えてください。

クラスの人数は少ないけど、その分みんなと話しやすいです。以前はクラス数も多く、知っている人しか話すことがなかったけれど、与論に来てからはたくさんの人と話することができます。また、初めての体育祭では、何もわからず不安だったけれど、上級生が優しく教えてくれたので、楽しみながら応援団の練習に取り組みました。

祖父母との生活は楽しいですか？

楽しいです。おばあちゃんのご飯もお母さんと同じくらいおいしいし、牛飼いのお手伝いも、牛舎に行くのがモーモー鳴きだすのがかわいい。掃除や餌やりなどの重労働も、おじいちゃん、おばあちゃんと楽しみながら取り組んでいます。

孫留学を始めてから感じた、与論の魅力や新たな発見はありますか。

周囲の明かりが少ないため、月や星の光がきれいです。おばあちゃんと星空を見ながら他愛ない話をするのが楽しいです。

ふるさと留学希望者へ、メッセージをお願いします。

与論に一人で来るのは不安だけど、地元の方も同級生も優しいので安心して与論に移り住めると 생각합니다。地域の方々みんなが挨拶をしてきてくださることからも、やさしさを感じられます。

休日は何をしていますか？

友達と海で泳いだり、ビーチ散歩や島内を散歩したり、ちょっとしたテニスの打ち合いをして過ごしています。与論は海も気軽に行けるし、友達にも自転車ですぐに会いにいけます♪

与論島での生活で感じた、故郷との違いや変化はありますか。

移住当初は、クラスの人数が少ないなあと感じました。その分1人1人との仲が深まり、気が付いたら以前より友達が増えていました。友達がすれ違う人たちに挨拶をする事に驚きました。与論では地域の人たちも優しく、知らない人であってもすぐに関わりをもつことができます。

与論島で印象的な思い出はなんですか。

与論島に来て、初めて友達と遊んだ時に、友達の家に行くとき男女合わせて5-6人集まってました。こんなに和気あいあいとできるんだなあ、と驚きました。また、天の川が瞬く満天の星空、海の砂の白さ、大きなテーブルソングを見たり、崖のようなところを登って洞窟探検したりと自然の豊かさに感動しました。

ふるさと留学希望者へ、メッセージをお願いします。

与論島の方々は優しいので、気軽に来てもいいと思います。観光でも、学びが目的でも、与論島はオススメです！

与論公立校×海洋教育（ゆんぬ学・「総合的な探究の時間」ゆんぬ）

令和元年度より、与論町内小・中学校、高等学校は海洋教育を取り入れています。令和4年度、与論中学校では地域の方による講義や海ゴミ拾い・マリニアクティビティなどの課外活動を行い、与論高等学校では、東京大学大気海洋研究所との合同企画により与論の水の検証行う取組も第2期生につながり、1期生より2名がJpGu2023大会へ参加しました。また、1月末に行われる海洋教育フェアにおいて、各児童・生徒が取り組んできた探究課題の成果を小学校から高校、町内すべての学校の子供たちが発表します。

地域学習・主体的な探究学習



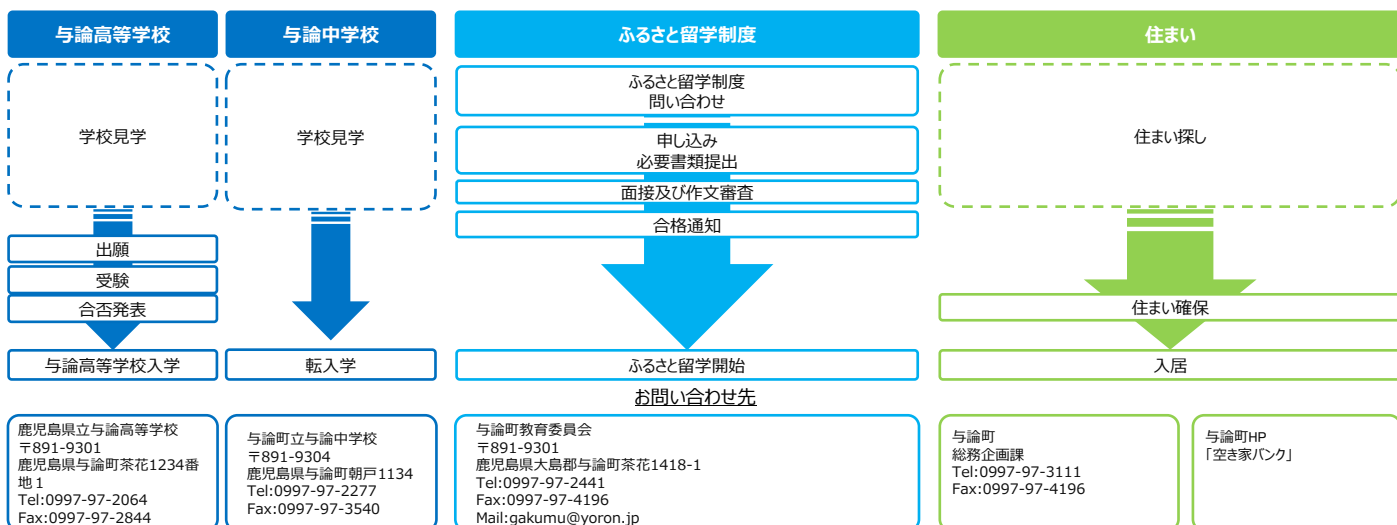
課外活動



地域の方との交流を通し、地域のことを知り、探究テーマ設定をします。

東京大学大気海洋研究所との合同企画に向けた採水作業・中学校ゆんぬ学の時間の中での海の清掃活動の様子です。

ふるさと留學生になるまでの流れ・お問い合わせ先（受付期間R5.10.13.Fri～）



※ ふるさと留學生進考を通じ、かつ与論高等学校の入試に合格した生徒が、ふるさと留學生として補助制度を受けることができます。

※ 生徒だけの受け入れはできません。親戚・祖父母の家など受け入れ先のある方や親子で留学期間中与論町に居住できる方に限ります。